

ユニットセンターからのお願いとお知らせ



■ 提出期限が過ぎた質問票がお手元に残っていませんか？随時受け付けていますので、いつでもご返送ください。

■ 質問票の測定日、お子さんの**身長・体重**は大変重要ですので、お忘れにならずご記入下さい。



エコチル調査 コールセンター (全国共通)

0120-53-5252

受付時間 / 年中無休：9：00～21：00

エコチル調査について、聞きたいことや要望があれば、コールセンターをご利用ください。出産・育児・健康・心の問題でお悩みのときも、お気軽にご相談下さい。エコチル調査にご登録いただいているご家族の皆さまがご利用できます。

宮城県こども夜間安心コール事業

#8000

(フッシュ回線の固定電話、携帯電話用)
※PHS不可

022-212-9390

(フッシュ回線以外の固定電話・PHS等用)
受付時間 / 年中無休：19：00～08：00

お子さんが急な病気になったときに、夜間の電話による医療相談を行い、保護者の方々の不安解消と、初期救急医療の充実を図ります。

子育てホットライン

022-216-1152

受付時間 /
月～金 9：00～17：00

心身の発達、病気やけが、しつけや育て方、子育て何でも電話相談です。子育て中の保護者の方ならどなたでも相談できます。

みやぎのお医者さんガイド
<http://medinf.mmic.or.jp/>

宮城県内の病院・医科診療所・歯科診療所及び助産所を探すのにお役立てください。宮城県休日当番医情報も有ります。



東北大学大学院医学系研究科 環境遺伝医学総合研究センター
エコチル調査宮城ユニットセンター



子どもの健康と環境に関する全国調査 エコチル調査

muc だより

©FUJITV KIDS Eco&Child Miyagi Unit Center

第6号

平成28年6月15日発行

第8回～第12回 エコチルセミナー報告

アレルギー疾患は、近年増加傾向にあります。アレルギー発症には、遺伝要因だけでなく環境要因も原因になると報告されています。また、適切に対応していくことで、上手にコントロールすることができます。



第8回～第12回エコチルセミナーでは、専門の先生をお招きし、アレルギーの治療法や対応のお話や湿疹ケアの方法の実践を行いました。

食物アレルギーは決して珍しくなく、特に0～2歳などの低年齢で多いそうです。その診断は血液検査だけでなく、実際に食べて体に反応が出るかで行うそうで、望ましい除去療法、減感作療法についても教えていただきました。乳幼児では湿疹と食物アレルギーとの関連が深く、アトピー性皮膚炎では皮膚のバリア機能が重要で、スキンケア（洗浄による悪化要因の除去、保湿による水分の保持）が大切であることを教わりました。



● 参加者からの声 ●

- とてもお話が分かりやすくてよかったです。今まで保湿のやり方を間違っていました。今日教えていただいたことを実践してみます。
- 先生からのコメントをいただき安心しました。孫もシール等いただき喜んでおりました。ありがとうございました。

今後のエコチルセミナーについて

エコチルセミナーのテーマを募集しています。

これまで県内各地で「アレルギー疾患」をテーマにセミナーを実施し、専門の先生からの治療法についてのお話や湿疹ケアの実践を行い、ご好評をいただきました。現在「小児の肥満」や「予防接種」についてのセミナーを計画しております。参加者の皆様が聞いてみたいと思うセミナーのテーマをぜひお知らせください。

開催地域の皆様には、1か月前に案内のお葉書をお送りします。今後もおご参加をお待ちしております。

テーマ募集はこちらまで

QRコード



ec-muc@egrc.med.tohoku.ac.jp



参加イベント

登米市こどもまつり

日時：9月25日(日)
会場：登米市迫体育館

ムックと
ガチャピンがくるよ！



- 大崎市 健康と福祉のつどい
日時：10月15日(土) 16日(日)
会場：fプラザ
- 石巻市食育健康フェスティバル
日時：10月23日(日)
会場：遊楽館
- 石巻市楽しさいっぱい子ども展
日時：10月30日(日)
会場：イオンモール石巻

小児環境医学分野

藤原幾磨 <fujiwara-ikuma>

Adiposity rebound (アディポシティリバウンド) ってご存知ですか？

Adiposity rebound (AR) とは耳慣れない言葉だと思いますが、これは小児肥満との関連で最近とても注目されています。文字通りには adiposity が「脂肪あるいは肥満」、rebound は「跳ね返り」という意味で、体格指数 BMI (body mass index) が幼児期に減少し、5~6歳ころ増加に転じることを AR と呼びます (図参照)。BMI は肥満や痩せの度合いを表し、幼児の発育の指標として使われる「カウプ指数」と同じ値で、体重 kg÷身長 m÷身長 m で計算されます。AR が2~4歳と早い場合小児肥満につながると言われています。宮城県をはじめ東北各県では小児肥満が多いです。BMI (カウプ指数) は数値そのものの評価も大切ですが、BMI の変化に着目することも重要です。

BMI (カウプ指数) 体重 kg ÷ 身長 m ÷ 身長 m

